

ま え が き



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の状況について公表し、県民の皆様のご理解を頂いておりますが、今回は平成21年度実質当初予算と平成20年度下半期の財政状況についてご説明申し上げます。

「百年に一度」とも言われる今回の経済・雇用情勢の悪化は、本県財政にも大きな影響を及ぼしており、平成21年度の県税収入は平成20年度当初予算計上額を220億円下回る過去最大の減収が見込まれ、社会保障関係経費、公債費といった義務的経費の増加と相まって、本県財政は引き続き極めて厳しい状況に置かれています。

平成21年度当初予算の編成にあたっては、こうした政策選択の幅が極めて限られた厳しい財政状況の中で、公共投資の事業量確保を含めた「緊急経済・雇用対策と景気回復を見据えた先行投資」、「本県の未来を切り拓く施策の展開」、加えて、持続可能な行財政基盤の確立に向けた「行財政改革の推進と実質公債費比率の18%超え対策」といった3つの政策課題に積極的に対応するとともに、切れ目なく施策を実行するため、平成21年度当初予算と国の平成20年度第2次補正予算に対応した平成20年度第1次3月補正予算を一体のものとして編成いたしました。

皆様の忌憚のないご批判と一層のご協力をお願い申し上げます次第です。

平成21年6月1日

石川県知事 谷 本 正 憲